京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

無題録　　みどり

▲憎まゝ役でも可愛からぬ役で、嫌しく役目どあれば之れ致し方なき譯なり、東拓監事換言すれば東拓監査役松小子爵及び野田卯太郎の兩氏は過日同道して京城に乘り込み專ら會社の諸課に亘りて監査を試み居らるゝ由監査するものゝ心、さるゝものゝ心想ふに神ならぬ身の知る由なきもセメて今少しくテキパキと遣つて欲しくとの嘆息は●●●●さゝやきのソレの如く春風にそよ吹く相聞より自つと耳朶を打つ心地す、而して松平子は去る六日黄海道載寧、鳳山、黄州方面に於ける[illegible]視察として出掛け野田氏は昨今午前十時より會社に出で專ら諸種の調査に怠りなしとか而して前者は機嫌よく後者の辨明を聞き後者は包み隱しなく前者の質問に答へざるべからず

▲曾禰副統監北韓視察の途次慶州に於て新羅の古跡を尋ね感慨の念禁ずる能はざりしとか而して子は該古跡を國寶として永遠に保存するの必要を認め歸着早々之が保存方を韓國政府に諮るべしと洵に以て結構な考へなり唯願くは而のあたり目睹せし該古跡を（太子自身）の好きな道から一個の骨董物視せず哀心當時を偲ぶ遺跡として保存の方法を執られんことを望まざるを得ず而して余輩は唯に該古跡のみに止らず八道至る所の名古跡を擧げて保存の方法を執られんことを希望するものなり、繰り返す子や新羅の古跡を目睹して感慨多時……蓋し之れ百聞は一見に如かざるの譬なり、今後は宜しく漢城以外に足を踏み出し、實地の視察と現在の調査とを遂ぐるを要す、言ふ迄もなく之れ爲政家の正に爲すべきことにして又爲さゝるべからざることなり

▲出版法發布以來治安妨害と認められ同法第十三條に照され發賣頒布を禁止されたる書籍總計十一冊に及びたりといふ、内容は知るに由なきも書籍名は去る七日の新聞に掲げし如く、越南三國史、國漢文及國文の二種、二十世紀朝鮮論、幼年必讀及び同釋義各上中下、中等敎科書、東國史畧上下、會獻會議錄、笑語等なり思ふに出版法の發布されしより日未だ淺きに拘はらず如斯比較的多數の違例書を出すに至れるは嘆くべきことゝいはざるべからず、而も同法の制定せられざる以前にありては如何許り社會を茶毒し人心を惑はしめたる書類の頻々として出でしや知るべからず、余輩は面の當り如上の違例書を目睹して今更らながら出版法の發布されしを欣ばざるを得ず

文苑

●友の逝去（二）　柴月

去年の儚なる月かげは
むはれ今宵も影きよし
戀しき君とただ二人
古木に宿りし月を跡み
かたりつ嘆ひつ慰めつ
盡きせぬ別を目にとめし
言はでも殘る袖の上
互ひに握るもろの手に
只だうつむいて一言の
言葉も出でず泣もねず
早く歸りて給はれと
叫びし名殘の其の言や
それも影はあり〳〵と
慕ひしとうて今になを
一と度便りしその時は
弄あそばるゝ病の魔に
二た度たよりし其時は
きみは他界の人と化し、
萬里の外にねむりしぞ
我はきみを捨ざるに
君がうき世を捨たるか
浮世はきみを見捨しか
きみは他界に寢るとも
二人の愛はあり〳〵と
●●●●
稲田がはまの紀念松
眞帆やかた帆と遠近に
眞砂子に殘せし愛の歌
女浪男浪に洗はれぬ

佐倉宗吾（七十五）　眞龍齋貞水講演

そこで宗五郎を喚んで、委細を話し、今夜密かに此山を出て、阪本町から駕籠へ乘つて故郷へ參るやうにと申し渡されますと、宗五郎は涙を流し

宗「有難う存じます……さて五郎兵衛殿、此度は甚い御厄介になる事でございます

五「エ、もう何う致しまして、私共の駕籠で御出になれば、人に分るやうな事はございません、御安心なすつて

宗「左様でございますか、何分御頼み申します」

茲に宗五郎は密かに山を脱出して、坂本一丁目の井筒屋五郎兵衛の家から乘出しました、道中に於いて、危いと思ふ時には成田の不動様が心願で、御參詣をするのであるが、常陸の龍ケ崎に親類があつて、其親類へ廻つて、此處へ來たと言ひ退けるまで、五郎兵衛は前以て考へて往きました、順に參りますと、行德から船橋、大和田、公津と參るのでありますが、それでは全然堀田様の領分を通る事に成りますから、道中が危い、そこで人の氣の注かないやうに往かうと云ふので、木颪へ出て安治喜へ出る事に致しました、木颪から安治喜へ船で行きますには、日の短い時分は一日掛かるそこで安治喜には、島屋源兵衛と謂ふ宿屋があるから、其島屋へ駕籠を擔ぎ込んで、其儘へ井筒屋五郎兵衛日傭へて居て、公辨の旦那を御別れに遣つたら宜からう、斯う云ふ譯で道中を急ぎまして、木颪まで漸くの事で着いたし、此處で一艘の船を仕立て、窃と宗五郎を擔ぎ込み、井筒五郎兵衛と三人の者が外の者と共に此船に乘り、恰度日の暮れ方に安治喜へ着きました、サア是から安治喜の島屋源兵衛方へ擔ぎ込まうと云ふのだが、是には五郎兵衛、斯う云ふ事をしやうか知らぬ、見馴れない所の京四ッの駕籠で、島屋の家へ駕籠が泊つたとならば乾度堀田の役人が眼を着けて調べに來る、駕籠を擔ぎ込むのは、構ふ事はないが、宗五どんの出處はる時に、若しさうでもない人が、宗五どんの姿でも見ちや成らねえが如何しやうぞ五郎兵衛考へた末、一計を案じ出し

五「オウ三次、権次、直ッ

三人「へ

五「一寸耳を貸しな斯う〳〵だ

三「へ、宜うがす

権「分りました

直「エ、宜うがす」

そこでドン〳〵と島屋の家へ擔いで來る、頓て島屋の家へ駕籠が降りると、見馴れない文々倶梨伽羅の、威勢の宜い人が、何か何うしたんだか知らないが、忽ちの間に大喧嘩がれつ始まつた

三「何を吐かしやがる

権「何を吐かすもねえもんだ此野郎ら、手前達に込をやられて耐るもんか

三「ナニッ何人が込をやつた

三「何だア

権「何でね、箆棒め、ふざけやがるな」

ポカーッと頭を一つ殴る

三「此野郎ッ、殴りやがつたな」

つて云ふと、撲り返す、其内に頭の髻を摑む、組んづ解れつ取組み合ふと、一人が仲へ割込んで往つて、引分けやうとすると、其仲人と喧嘩が始まる、此奴を引分ける、又此方の野郎と取組合となる、撲るやら蹴るやら、大變な騒ぎ、如何に田舎の人でも吃驚した「イヤア大變な大喧嘩がある」と、皆な家を駈出して、アレヨ〳〵と見て居る、全然身体中一杯の文身をして居る、威勢の好い兄イが、組んづ解れつの大喧嘩だから身体も血だらけで、頭の髪もバラ〳〵にしやがつてふざけやがるなッ

三「ヘッ」

鶴の一聲、忽ち喧嘩は鎮まつた「恐しい喧嘩だが又鎮まるのも早い」物は鎮いてゐる、早い譯で、相對喧嘩でございます

嶺　告

誰も彼も其喧嘩の方へ眼を奪はれて居る内に駕籠の中から窃と宗五郎を出して、直ぐ二階へ案内をさせて仕舞つた、皆な喧嘩に氣を取られて居たから、宗五郎が島屋の二階へ登つた事は何人も知らない、既う宗五郎が二階へ登つて仕舞つた時分五郎兵衛が

五「ヤイ、汝等はマア本統に何て醜態だ、俺かな行違ひから、此様な喧嘩しやがつて、汝等アあんまり言ふ事を聴きやがらねえから踏越を為やがるんだ、何て醜態だ、見なッ

京城新報

再び治外法權撤去

先づ我より始めよ

韓國の治外法權撤去に就ては統監府と外務省との打合を了し東京駐剳の列國使臣と交渉を開始したるは事實なるが如し、余輩は其時機を得たるものとして之に贊同するもの也、

頃者余輩が論じたる如く、韓國に於ける司法制度は稍々完備し在留外國人の生命財產を安全に保留するに足る、殊に裁判官及警察官の要部は日本人なるを以て、帝國を信ずるの列國人は無論此交渉に應ずることを躊躇せざるべしと雖も、萬一列國が之に應ずることを躊躇するが如きことあるも、帝國政府は先づ自から進で治外法權を撤去すべし、人を信せしめんとすれば已れ先づ之を信せざる可らず、自已の保護政治の下に自已の治外法權を存し、而して列國に對して其撤去を交渉するは表面より觀察すれば殆ど已れ信せずして人に强て信せしむると同一の觀あり、宗主國たる日本は先づ之が撤去を斷行せざる可らず、惟ふに是れ統監旗の翻ると共に帝國は卒先以て治外法權を撤去せざる可らざりし也、保護統治の下に斯る條約を今に存するの要なく、此權利を有したり迚亦別に効力なし、或は曰ん韓國の諸制度完備せざるを以て云々と、然れども統監政廳の存する以上は優に生命財產の安固を保留することを得べき筈也、

治外法權は韓人を啓發指導する爲に甚だ不便也、之を撤去するは全く其不便の障壁を除却するもの也、在留日本人に取りても甚だ不便にして此權利を存するが爲に何等の利益もなし、一例を擧ぐれば日本人が地方に於て暴徒の爲に禍害に遭遇するも、所謂現行條約に依り居留地外の地域に於ける出來事は顧られざるを以て其損害の賠償を訴る所なし、日本人に取りては治外法權なるものは殆ど有名無實の趣あり、此等の例を擧れば尙多々あるべきも、要するに斯る現行條約を存するよりも速に之を撤去して障壁を除却するは日韓人相互の便宜也、

保護統治の下に治外法權を存する事に就ては或は英國の埃及に於ける事を云々するものありと雖も、英國の埃及に於けると日本の韓國に於ける關係とは頗る其趣を異にする也、埃及は表面上の保護國に非ずして事實上の保護國也、其關係や日韓の關係とは大なる差違あるを以て決して同一に論ず可らず、

此等の事に就ては幾多の議論もあるべしと雖も、韓國の治外法權撤去は何れにしても斷行せざる可らざる問題也、列國の承認するとせざるとに拘らず、帝國は先づ之を撤去して自信を發表せざる可らず、此自信ありて始て列國の首肯する所とならん、願ふ隗より始めよと余輩は此言を以て當局者に勸告するもの也、

東京電報

▲日糖事件審問進行　日糖事件の審問は大に進行せり中村忠七氏の保釋の如きは其の一例と見るべし

▲薩摩艦試運轉　製造中の軍艦薩摩は艤裝を了り不日試運轉を行ふべし

▲兩代議士辭意　日糖事件にて囚監中の長谷川、秋山兩代議士は辭意を漏せり（以上八日發）

外報一束

●王宮秘密庫　土都イルヂッズ王宮内を搜索したる結果一個の秘密窖藏を發見せり而して右窖藏内には非常に主要なる文書類を初め總額千五百萬法に達する歐州諸銀行の預金帳、寶石及び種々の貴重品等隱匿しありたり又同所にて發見したる歐洲某國君主の書翰は最近政變の原因に就き一道の光明を與ふるに足るものなりと

●ロ氏轉任ご世評　華盛頓の一部人士間には過日來大統領タフト氏がロックヒル氏の辛抱强き外交家たる事を認めて氏を陞進せしむる意向あること知れ渡り居たり尙氏が外交上の經驗は主として極東に於て得られたるものなれども氏は嘗て一時希臘羅馬尼亞駐剳の公使たりし事ありしを以て歐羅巴の形勢に充分通曉する所あるべしと信せらる

●獨帝ご宰相ビ氏　獨逸皇帝は其旅行先なる希臘國コルフ島より宰相ビューロー公に宛て宰相に對する獨帝の信任を確保せる誕辰祝賀の電報を發したり

●米國の旋風慘害　ミスシッピー平原に恐る可き旋風起り今までの報道に據れば死者百八十二名、負傷者七百名を出せり

●獨逸人殺害さる　確聞する所によれば獨逸ドクトル二名雲南（地名未詳）に於て土人に殺害せられ駐淸獨逸公使レックス伯は詳細の原因取調べ中なりと

雜報

●土地調査着手　臨時財產整理局にては一千萬圓の土地整理の準備として大邱、全州、元山の各財務監督局管内へ鹽田囑託、竹田、塚田兩主事各一名宛の通譯を從へ又漢城、平壤、公州の各財務監督局管内へは尾石囑託、木村岸田兩主事各一名宛の通譯を從へ各往復四十五日の豫定にて兩三日中出張の由なるが今其の土地調査關係事項を擧ぐれば（一）行政區劃の名稱（二）土地の名稱（三）課稅地不課稅地（四）同上の區分（五）境界（六）土地表示符號（七）地位等級面積及結數査定慣例（八）結等級別區分（九）石落斗落及日耕の面積（十）所有權（十一）質權抵當權（十二）、作人の地主との關係（十三）帳簿書類（十四）人事及其他なりといふ

●局長會議の議題　過般來連日度支部樓上に開會中の財務監督局長會議の議題の重要なるものは既報の通りなるが要するに東洋拓殖會社へ引渡すべき各地驛屯土の引繼に就ての手加減及今回新に制定されたる酒、煙草、家屋の三稅實施の方法並に全國土地整理計畫に關する事項等なり

●東拓の株券交附　東拓の株券は去る二十七日迄在東京の出張員詰所に於て交付し來りしも其後の分は京城本店にて交付する筈なりと云ふ

●副統監の歸着　曾禰副統監は昨八日午後三時仁川港へ入港四時上陸の上[illegible]樓にて晩餐を濟まし終列車にて歸京せり

●副統監園遊會　曾禰副統監は來る十五日（土曜日）日韓各高等官及其家族在京各國總領事及夫人民間有志、新聞記者通信員等約一千六百名を招待し統監邸後丘に於て園遊會を催すべしと

●驛屯土の重要個所　東拓會社が引繼ぐべき驛屯土に就ては度支部の提供に對して調査中とのことは既に報道したるが會社は種々四分の一に相當せる土地を撰擇して書類引繼濟の由にて其の方法は別に測量を用ひず豫て報道したる防風林、農業用道路、溝渠、堤防の土地を見込みたる外に或る有利なる方法も講じたりとの事にて株主は大に安心して可なり尙其の重なる場所は京城及平壤附近、馬山方面なるが而して日本人は潔癖なれば兎角理窟張ると雖も會社の成効は日韓兩國の拓殖に對する成効なれば其の間多少の惑る意味なかるべからず其の報告は不日東京に開かるゝ總會に於て爲すべき筈なるも結局報告せざるとなるべく、而して殘部四分の三に對する土地は目下調査中にて追て引繼ぐことになるべしと當局者は語れり

斯う申出が多くては……

●農林講習所設置　平安南道寄附金の處置に就きては內部は農商工部と凝議の結果農林講習場を設置することに決定したるが現在の寄附金額を以て二ヶ年を維持せしむる方針にて其後は成績の如何に依り地方稅を以て存續せしむるか又は國庫より支出して之れを維持するか目下未定なりと

●本年第二回救恤金　本年度第二期救恤金の下付は漢城府外七道にして致死十三此救恤金額九圓七十五錢罹災戶二百九十二此救恤金八十七圓六十錢なりといふ

●面長の職制諮問　面長職制の制定に關し一昨七日鈴木深田の兩局長は目下開會中の財務監督局長會議に出席して同法案の說明を爲し併せて各局長より意見を徵したりと

●大內代議士歡迎會　代議士大內暢三氏は三日の溫州丸にて歸木したるが近々木浦有志者の發起にて慰勞宴を催し第二十五議會に於ける韓國の諸問題に關し報告演說を開く計畫なりと云ふ

●手形組合理事會議　度支部にては來る二十日頃より各手形組合理事を召集して理事會議を開く筈なりと

●帶同謁見と勝田局長　曾禰副統監は來る十一日勝田理財局長を帶同して韓皇に謁見する筈なりといふ

●度支部の舍音排斥　韓國に於ける地主が小作人を管理するには從來地主と小作人との間に舍音なるものありて小作人の選定解除及び之が監督をなし且つ定まりたる小作料を徵收して地主に完納するの習慣にして地主に取りては非常に便利なるが如きも之れが爲めに種々の弊害を生じ舍音は一種の役儈として中間に於て小作料を掠め且つ小作權を濫賣し地主小作人等は舍音の爲めに利用せらるゝの傾あるを以て度支部にては此の弊を除去せん爲め絕對的に舍音を排斥し眞正の小作人と小作契約を爲す方針を執ることゝなりしが舍音は地方に於て相當の權力を有するものなれば愈々舍音を排斥するに至らば勢ひ彼等の反抗を見るべしといふ

●經濟協會例會

附勝田局長の歡迎會

昨日京城ホテルに開會の經濟協會例會は今回來城せられたる勝田理財局長の歡迎會を兼たるを以て意外の盛況なりき來會の重なる人々は三浦理事官宇佐川男爵大屋長官池田長官鈴木司稅局長等にて其他官民無慮六十有餘名、午後一時食堂は開かれ宴酣にして三浦理事官坐長として歡迎の辭を述べられ續て勝田理財局長卓上演說ありて全く閉會せしは午後三時なりき、勝田理財局長の演說大要は左の如し

自分は今回韓國及滿洲の取調べに來れるものなれば寧ろ諸君に就て學ばねばならぬ決して自分より話を申上る考はない亦其資格も持て居らぬ元來自分は大藏省に一部局の仕事をして居るものである故に到底東洋の大勢とか世界の大勢とかに就てお話する事は出來ぬけれども今日は折角の御招待を受けたることなれば自分の出來得る範圍に於て簡單なる話を申上る御承知の通り先達來日糖事件や藤本店等ありしも畢竟之れ戰後經濟の變調の結果である斯の如きは何れの國でも戰後に於て免れぬ現象である而して此不正なる銀行會社がなくなると云ふ事は實際に於ては甚だ喜ぶべき事である、諸君が御承知の通り桂內閣が財政整理に着手した結果として海外に於ける日本公債は十磅も騰貴した是を以て見ても桂內閣の財政整理の効果を知る可である桂內閣は尙種々の方面に向て整理をなしつゝある此財政整理が進步するに從て日本の金融經濟の狀態は漸次順調に向ふのである過日日本銀行は金利を引下たり是は取も直さず日本の金融經濟が是から善くなると云ふ證據である、日本銀行は今迄金融經濟がよくなると云ふ事が確と判らぬ中は決して金利を下げた事はない是に依て見るも日本の經濟界は戰後を受けて是迄は不安なりしも今は既に安全となれり日本銀行の金利引下げを見るも前途の發達は期して待べきである今日自分の知る處では日本の重なる銀行は皆資金を抱き居りて金融は極て緩慢である金融の緩慢は事業の興起を意味するのである而して今後は戰後の如く急激に突飛に事業は起らず既に苦き經驗を嘗めたる經濟界はツマサキ上りに健全なる事業が起りて經濟は順調に發達するのである、要するに自分は日本の經濟に就ては極て樂觀して居る今迄は韓國も滿洲も日本戰後不安の影響を受けて居つたろふと思ふが今後は日本より來る好影響を受けるだろふと思ふ而して自分は常に韓人は貧乏であると思つて居たが聞く所に依ると韓人には隱くして居る貯金があるとの事である若し夫れが事實ならば度支部及び其他の當局者は之を活かす事を研究なさるを希望します云々

●勝田局長の龍山視察　勝田理財局長一行は昨日の經濟協會歡迎會を終るや度支部の案內にて龍山に於ける度支部事業の視察に赴けりと云ふ

●勝田局長の行程　一昨日入京したる大藏省理財局長勝田主計氏は十一日迄滯京の筈なるが其行程左の如し

△八日　統監邸、副統監邸、統監府、東拓會社、軍司令官、第一銀行、經濟協會歡迎會、印刷局、煉瓦製造場

△九日　午前仁川行、午後六時東拓歡迎會

△十日　各部、各銀行、各會社、午後六時第一銀行歡迎會

△十一日　帶同謁見、各銀行招待會（正午）石塚長官招待會（午後六時）

△十二日　午前南大門發平壤柳屋一泊

△十三日　平壤發安東縣

●石川石代氏送別會　旣報鐵道管理局石川建設部長の送別會は一昨日午後六時より花月樓に開會來會者約六十名席定まるや三浦理事官發起人を代表して送別の辭を述べ次で石川氏の挨拶あり終つて宴に移りたるが主客十二分の歡を盡して散會せしは午後十一時頃なりき

●青年會の運動會　大韓基督教青年會にては昨日午前八時より惠化門外にて第五回運動會を開きたるが李總理より金五十圓其他各大臣より五十圓を寄附ありたり

●慶北電信事務開始　來る六月一日より慶尙北道榮川、浦項、盈德の各郵便取扱所に電信事務取扱開始の事に內定せりと

本日の集會

▲京城基督教會　日の出町の同教會にては午前九時より日曜學校同十時より洗禮晚餐あり終つて米澤牧師の「花の神輿」と題する說教あり午後は教會員一同南山に於て春季親睦會の催しある由

▲日本基督教會　旭町四丁目の同教會にては午前八時半より日曜學校同十時より石原牧師の「[illegible]の模範」午後八時より同牧師の「根本的基督教」と題する說教あり

▲長谷川町西本願寺　同本願寺にては本日午後八時より[illegible]開教使の講話並に說教あり

▲メソヂスト教會　旭町二丁目の同教會にては午前九時半より聖書研究、同十時半より木原牧師の「立て步め」午後八時より同牧師の感話並に傳道說教あり

公人私人

▲小寺甲子吉（京中教諭）七日入京佐藤

▲豐田明敏（慶尙農工銀行副支配人）七日入京同上

▲遠藤豐三郎（大邱分隊付三等主計）同 旭旅館

▲本田幸介（水原勸業模範場長）同巴城館

▲首持隆（平壤憲兵分隊付二等主計）同[illegible]

▲山下俊澄（海州農工銀行支配人）同不知火

▲白井良一（統監府特許局審査官）同不知火

▲渡邊善藏（財務官）七日大邱に向ふ

▲小島三郎（江陵金融組合理事）七日歸任

▲名和勝（蔚原金融組合理事）同上

▲藤掛眞一（金城金融理事）同上

▲遠藤善十郎（度支部建築所技師）同日釜山へ

▲面高慶之助（島根縣水產試驗場長）同上

近事片々

▲統監　伊藤老公輓近捨名取實の行はれざるを大に感ずつて後悔しつゝありとの說有

▲左も　あらむ何人が見ても次官制度はダメ乃公獨威せざる理なし事實ならば甚好矣

▲本紙　が夙に警告したる時に覺悟せば今日の悔あらじ併し遲しと雖も不悔に優る也

▲近々　歸任の趣意は此等官制大改革をなさむが爲也と果して然らば近來の大出來也

▲併し　徒に官制の枝葉にのみ走ることなく根本を確立し實蹟を擧る事に努むへき也

▲英國　の對淸政策は頭者一變し高壓主義を取るに至れりと流石は英國機を見る敏也

▲淸國　外交小刀細工を弄し英を相抉き獨に據る英國が高壓手段を採るは機宜に適す

▲是が　爲に英國の對淸外交大に振ふと左もあらむ我が霞ヶ關も其方針を一變せよや

▲英國　の外交は時に懷柔し時に威壓を加ふ眞に寬嚴宜しきを得たる者歎賞の外なし

▲此手　心を少し伊藤老公にも呑み込ませたき心地ぞする列國に過度の氣兼は甚だ非

▲極東　に於ける帝國の地位何事をなしてかならざらん爲し得ざるは腕の鈍き所以也

▲近世　外交は獨り當局者の活動のみに非して各國元首が進で外交的行動を採るに至る

▲英國　皇帝獨逸皇帝は能く之に努めらるゝ皇室の親和は外交に至大の關係を有す也

▲桂首　相小村外相打連れて屢々伊公と會するは治外法權撤去交渉の件に就てならむ

▲一面　に於て今暫らく留任を勸むるとも云ふ最早御氣兼は止て宜加減に斷念せよ

▲英國　上院に保守派の首領バ氏豫算案に對し痛烈なる批評を加へ議場は熱情湧起す

▲バ氏　近來頻に現內閣政策を攻擊す輿論漸く保守派に傾き來る自由派內閣前途如何

▲宰相　亞氏亦能く政府案辨護に努む兩者の爭や整々堂々龍虎の如し敗するも亦美事

▲横井　代議士辭任を申出づ流石は名門の人我利々々の政友會員等の仲間には出色也

▲何等　の必要有て[illegible]めたか知らぬが橫井氏としては甚だ不面目の事をなせり

▲新島　襄下の[illegible]地下の新島翁は如何に歎かむ

▲伯林　には獅子曲藝の見世物出でたりき猛獅を猫の如く操る頗る妙也とは[illegible]

東京電報

▲日韓聯絡　[illegible]券は發賣驛中に岡山尾の道の四驛を加へ本月二十五日より實施

▲東拓交付株數　[illegible]本日迄に交付したる株數は日本人[illegible]萬[illegible]百株韓國六萬株なり（八日發）

●兩監事の出發期　松平、野田兩東拓監事は十一日當地出發歸東の途につく由なるが野田氏は郷里福岡へ立[illegible]

●野田東拓監事下仁　東拓監事野田卯太郎氏は昨朝下仁、曾禰副統監と同行歸京せり

●金融組合の擴張事業　[illegible]付ては益々其の規模を擴張し全國至る所の組合を百ヶ所に增設すべしとのことは既報の如くなるが先日報道したる動產擔保の外委託販賣、共同購入、農事改良、貸付金取扱[illegible]置いて農事の改良を爲さしめ農業用の器具[illegible]は組合より[illegible]の周旋にて之れを貸付し共に購入の上組合員に分配をなし技手を[illegible]て生產物の如きは之れを倉庫に預け擔當の融通を得て其價額の騰貴したる時機に賣却する如き以て其の貸付を取締る等の事なるが利子は四分乃至六分五厘迄にて向後の發展大に見るべきものならむと云ふ

●佛國議員の訪問　韓國視察の爲め一昨七日入京したる佛國上院議員チチロンド博士は昨朝外部部長事務取扱を訪問せり

●京中の授業開始　京城中學校は愈々明十日より授業開始の由

▲東拓交付株數 東拓の株［illegible］百株韓國六萬株なり（八日發）

▲［illegible］券は發賣驛中に岡山尾の通線島の四驛を加へ本月二十五日より實施す

●兩監事の出發期 ［illegible］松平、野田兩東拓監事は本日當地出發歸東

●野田東拓監事下仁 東拓監事野田卯太郎氏は昨朝下仁、會寧［illegible］の途につく由なるが野田氏は郷里福岡へ立［illegible］統監と同行歸京せり

●金融組合の擴張 ［illegible］付ては益々其の規模を擴張し全國至る所の組合を所に增設すべしとのことは既報の如くなるが先日報道したる動産擔保の外委託販賣、共同購入、農事改良、貸付金取［illegible］て生産物の如きは之れを倉庫に預け擔當の融通を得て其價額の騰貴したる時機に賣却し共に購入の上組合員に分配をなし技手を［illegible］展大に見るべき［illegible］

雙影（七） 南船北馬樓主人

第二章 落膽（三）

『姐さん、妾、もう……。』

と、あとは得言はず、身を震るはして咽び入つて了ふ。仲居も然ぞだと思はぬでは無いが、さりとて、慰むべき術もないので、懲じい思ひ遣りのある言葉を掛けて、却つて悲嘆せる君子の胸に、一層の悲哀を增さんよりは、事を素氣なく言ひはぐらかして此場を一先づ退くに若かずと、流石年增の分別を定めて、態と何時にない強い聲で、

『何だね、詮らない、君ちやんにも、似合はない、那麼事でこんな職業が出來るものかね、それは互織に人間だもの血もあり淚もある以上は、偶には悲しい事もあらうし又た嬉しいこともあろふしさ、だけど、それを一々れ前さんのやうに氣に掛けてゐたら、とても体が保てるものぢやない、どうせ浮氣な職業だもの、彼方で捨てるなら此方でも捨てゝやるさ、未練がましい、何時までも、那麼一人の男ばかり思つて居れるものかね、

『ホヽヽ』と笑つて、

『だからさ、れ前さんだつて、何も山田さん一人が男といふのぢやなし、決然と思ひ切つた方が可いぢやないかね。』

言つても、君子は泣いて居るばかり、仲居の云ふ事など、とても耳に入りさうにもない。

日暮れに薄るゝ空模樣は、何となく霽れはしげに、今にも雨が降りさうな氣勢、製造場の滊笛が曇つた聲で、泣くやうに聞こて來ると、階下でも恰度拍子木が鳴つて、彼處此處の部屋が騷かにどよめき起つて、廊下を走り廻る跫音が高い。

『れや、もう時間だよと。』吃驚して、

『それでは君ちやん、あとですた……ね、だから餘りくよ〳〵思はない方が可いのよ』

君子は僅に首を擧げて、仲居のあとを見送つたが、又俯向いて考へ込む。

考へれば考へるほど、心細さと、味氣無さとが森々と胸に迫る、うして此の先き一生涯もう決して山田さんに逢はれぬかと思ふと、此先き何の樂もないばかりか、現在今日生きてゐる空もないのである、と云つて、死なれもせぬ、と云つて慾ひ生殘つて物を思ふも慾ひ……這麼ことを思ひ詰めて悶へて居ると又た、第二の拍子木が鳴つた、夜の出陣を促すのだ。

噫、また今夜も、獸慾に飢わた、厭やな厭やな客を取つて、心にもない追從を云［illegible］

●余が觀る天理教（四） 柳江生

▲天理教の教祖（二）

斯くて中山氏に嫁した美伎子は、實に近隣の褒めものであつた、夫に事へて貞操を盡し、姑僕に對して恩情を垂れるのは言ふまでもなく、一切の困病は慈情から出るものだとして、性質多病の身なるにも拘らず、野仕事から裁縫、機織の事に至るまで、總てを一身に引き受けて、まめまめしく立働くのみか、夜に入りては必ず心經と和讃とを讀誦して佛に仕へ、他人が若し美伎子の体質の弱いのを心配して休養を勸めでもすると、妾は体が人並でないから人樣の二三層倍も働かねばなりませぬ、と云つて、ちつとも骨を休める事はなかつたさうである。

美枝子は二十四歲で長男善右衛門（後に秀司）を產み、二十八歲で長女政子を生み、三十歲で二女安子を產んだ。恰度その翌年のことである、中山家の隣家に足達といふ大庄屋を勸めてゐる豪農があつた、處がその子息の照之丞と云ふに乳が足りない、そこで照之丞は一日增しに、瘦せて行くばかり、父も母も我子の飢に泣くさまを見て、殆んど生きながら肉を削られるやうに悲しんでゐたが、美伎子は隣りづからこの悲慘事を見るに見かねて、自分には三人の幼兒があるにも拘らず、照之丞を自分の家に迎へ取つて、二女の安子と同樣に養育する事とした、然るに照之丞は間もなく、俄かに疱瘡に罹つて、それが何時しか惡質の黑疱瘡に變じ、到頭重態に陷つてしまつた、於是乎、美伎子は黑疱瘡の患兒を抱いて、母家とは掛け離れた離座敷に閉ぢ籠り、第一の手段として附近に名のある醫師を招いて、百方施療をしたのであるが、一向に効驗がない、さりとて大事な人の子を預りながら、若しこのまゝに死なすやうな事でもあつたら、親達に對して何の面目があるものぞ、只だ此上は神の力に縋り申すより外はないと、決心してそれより百日間の洗足詣、美伎子は深くも深夜人の寢鎭まるのを待つて靈前に立て、深夜人の寢鎭まるのを待つて產土神社の社前に到り、八百萬の神々の名［illegible］

つて、その滿足を買はねばならぬか……

『あゝ、辛らい。』

と思ふと、急に張店に出る氣もしない、暗闇の部屋のうちに仆れたまゝ、泣いて居ると、

『姐さん、れ店へ……。』

と、可愛らしい花ちやんが迎へに來る。

を呼んで、照之丞病氣快癒の祈を上げた、到底死を免れぬものならば、長男は相續人で止むを得ませぬが殘る二人の娘を捧げまする程に、我子の命にかへて、若し又た小供の命のみで足りませねば、妾の命もさし上げまする」と心血を絞つて祈念したが、何卒照之丞の命をお助け下さりませ。「若しも此の兒の壽命に限りがあつて、

我子の命、自己の命、この二個のものを犧牲として、一向照之丞の命を助けんとする、美伎子の至誠が通したのであろふ、照之丞の病氣は次第〳〵に快くなつて、間もなく遂ひに全快したといふ事である。

●熱三魔詩（中） 魚遊痴史

▲其二「悶々夜魔」

淒深く入船錨を下ろしや
積んだ財寶も空となる

亂痴奇騷ぎは一時の愉快
あとじや萬梅する苦勞

日曜くる度鼻毛を延しや
月末ぁ拂ひで身が縮む

チョイト一樂貪ぼる夢の
結果の報ひが四苦八苦

仇花の桃山眺めるばかり
毛虫が付ゆへ實は持ぬ

奴猪羅魔苛清榮譽も嚢も
など〻夢中に成る奴さ

替はる夜ごとに帶紐常盤
松のみさをが何のその

格子先で相生裏から返し
情夫と客との遣ひ分け

報ひは天鬼面直ぐ梅月よ
羅つて耻かし醫師通ひ

石塊や瓦片を玉川なぞ〻
飾り立てたる流れの身

●帆船の沈沒 仁川本町四丁目の川初彌太郎の取扱なる帆船好德丸と云ふは一昨日仁川に入港せる御用船仁川丸よりセメント三百五十桶を移載して稅關埠頭に揚陸すべく船を進航せしむる途中稅關棧橋の彼方に來りたる折柄恰も干潮に際せることゝて船底は海底と密着するが如き有樣に危險云ふ許りなしと見る間もあらばこそ船底に何物か觸れたりけん奇怪なる音響を發して船底に大破損を生じたれば海水は何んの容赦もなく侵水し見る間に沈沒せんとしたれば船員は必死となりてセメントの揚陸に努めたるも僅かに十五個を揚げ得たるのみにして他は船と共に沈沒したり

●壯俳の公判 目下京城座に開演中の梅花美團一座の女形橋本義正は徵兵令違犯の廉に依り來る十一日午前十時京城理事廳に於て公判開廷され岩本英夫氏之れが辯［illegible］

●黨と爲す筈なるが彼等一座の面々は舞臺の公判を今度に實地に試驗するものなり連日岩本氏宅へ詰め込み研究を爲し居れるが公判當日は定めて傍聽人も多かるべしと

▲良人の二種類▼

甲夫人「……全体良人テものには顯はしくない種類のが二つありますのね」

乙夫人「夜分はキット家に居たがる良人と、アベコベに夜に限つて外に出たがる良人でしやう」

●淸潔法施行日割 南部警察署管內淸潔法施行日割及區域左の如し

▲五月十日 旭町一、二丁目本町一丁目同裏通南大門通二丁目羽衣町▲十一日長谷川町北米倉町太平町二丁目本町二、三、四丁目旭町三丁目▲十二日 旭町四丁目南山町一、二、三四丁目倭城臺壽町全部日の出町▲十三日 永樂町全部、曙町、明治町全部▲十四日 黃金町竹園町本町五、六、七丁目▲十五日 大和町全部本町八、九丁目新町花園町▲十六日 若草町全部櫻井町全部

●敷島遊廓の檢梅 仁川敷島に於ける乙種藝妓の檢梅は一昨日午後勵行せられたるが受檢者八十四名の中入院を命ぜられたるものは日進樓の次郎、吾妻樓の小福の二名にして咽喉洗滌は吾妻の加代、敷島支店の小蝶、局部洗滌は深川樓の紫、吾妻樓の若米、敷島支店の万良、高砂樓の二見の四名ありたる外他には別條なかりしと

●故障附の女郎 新町遊郭にては一昨日檢梅の結果南山樓の南榮、山遊樓の千代松の兩名入院、第一樓本店の園枝大桝屋の千代鶴、小蝶、松榮樓の妻吉、南山樓の太吉歌英の兩名及び山遊樓の九十九は病氣の爲め暫く休業と極まりたれば一寸御親類筋へ御知らせな仕る

●在韓愛媛縣人會 今回來京されたる勝田理財局長（松山人）歡迎を兼ね在韓愛媛縣人會を明十日花月樓に開催する筈なるが同縣人にして通知漏の人は朝鮮日日社の今井氏若くは旭町二丁目大久保辯護士方に申込まるべしと

●開運樓の開業 龍山桃山遊廓の開運樓は過般來新築中の處此程全く落成し去る七日より開業せり張店に居並ぶ別嬪は淸松、增菊、雀、みどり、一助、朝子、巴、三八等也と

●太平町の運動會 當地太平町にては本日午前十時より南大門城壁內にて聯合大運動會を開催する筈なり

演藝界

▲永樂亭 竹本一昇一座義太夫は大奮發を爲し木戶錢及び中共合して一人前拾錢となしたる由尙は今夜の語物左の如し 岸姬（小富士）逆櫓（定）御殿（圓朝）宗五郎內（輝美）阿波鳴戶（一昇）日向島（梶登）太十（總掛合）

▲壽座 相變らず大入を占め居れるが今夜の替りは「十二ヶ月芦分船」又明日の替りは「元祿藝者」なりと

▲龍山座 は京城音樂講習會龍山分會設立演奏會を昨今の兩夜開催

●ぶらつ記（四） ぼく

既に新町を見、桃山を見、吟風の女を養へりと誤り傳へられたる日の出亭を見たり。今は地獄谷を見ざるべからず、万を慮りて見を抱きて行く、拉置せられんことを虞れたれば也。

夜未だ深からず、加ふるに道狹し、行人絡繹たり、而かも多くは此れ素通り客、不景氣の風吹きぬけの露地の內、樓主女將の顏の色肥料の足らぬ菜の葉の如、思へば何うやら氣の毒なと思はれ相で思はれもせず。雜然と列べた妓輩の顏、如何に塗ればとて擦ればとて何うにもなる樣な面を持ち合はした女見當らず、情郎招ぶには適當せず、郷國に歸つて畑の烏ホーイ〳〵と逐ふて居れば餘程御國のたん爲め也。

行く手の方よりドヤ〳〵と四五人連れの男あり。微醉加減の上機嫌、と見て取つた一人の女、ドタバタ起つて這入り口、水に浸つた飯粒に手足附けたかと疑はるゝが、後なる男の袂をムツと「れ遊びなさいよう」とは能く云へた。

ット振り回りし男はニヤリ「マア面を見や」捉られし袂振り切つて一足出した背中をドサリ撲つた其の手をゴソリと帶に「面でれ客は取らねヱよ」と、一語凜として直ちに入の肺腑を刺す。偉なる哉統監府の德。

山陽亭と云ふがあり、火鉢を圍んで三四人面でれ客は取らねれ組の女あり、格子にひたと身を寄せて小聲に女の名を呼ぶ、一醉客あり、八字髯嚴しく絹銘仙の羽織を着けたり、出で來し女の耳近く密語き合ひしがット放れて、「一度位は貸ても宜からうに」憤然として去る。

ドカリと臀を上り口「馬鹿にしてるよ」とは他事ながら腹のたつこと、面でれ客を取らねね茫然として居て万が一、面でれ客を取らねね女に引つ捉つては夫れこそ事と愴慌として出づれば或る家の前に人垣作つて打ち騷げり、何に事かある、他の隙より打ち覗けば雜貨、古道具の競賣也、其の隣りなる飲食店、路に對した飾り棚、山と盛つたる大皿のれすしが大層甘そう也（七日夜の記未完）

●天氣豫報 （自八日午後六時 至九日午後六時）

南の風晴

七日 最高溫度 六四、二 最低溫度 四八、九 （華氏）

●眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る

▲無料紹介欄▼

人事部

雇はれたし　家族少なき家を望む十九女（氏名在社）

年五体強て筆記精通會社商店へ雇はれたし確實保證人あり給料多額を望ます　氏名在社（二四〇）

長崎縣人佐藤コノ　上記の人住所御存知の方は作御手數京城旭町一丁目池田質店迄御報を乞（二四五）

女中入用年齢問はず清潔好きの者身元保證人を要す　南山町一の四七　月報社篠塚

●雇入　十五歳以上二十歳以下丁稚至急入用　龍山元町三　日韓組

●教授　禮法茶道活花琴教授す　旭町二の七〇　九目幸琴（二五二）

物件部

貸家　若草町一温突一間疊敷二間日本流押込二外に炊事場玄關井戸付家賃二三五〇　若草町一の一二九矢島（二四一）

貸家　若草町一温突二間疊敷二間日本流押込付外に炊事場玄關井戸付家賃二三五〇　若草町一の一二九矢嶋（二四二）

貸家　若草町一温突三間半疊敷一間炊事場押込付家賃一三五〇　若草町一の一二九矢島（二四三）

求貸家　西大門外西小門外方面なる四五十間の韓人家屋を格安にて貸受けたし　氏名在社（二四七）

貸家　南大門附近目拔の場所總二階間敷十六疊敷六十五造作敷金共百五十圓　旭町一の六十　旭町競賣所

●求貸二階　南大門より本町三丁目迄の所にて觀望のよき二階二間（床、押入付）格安にて借受たし　姓名在社（二五一）

●賣却　古寫眞器附屬品共安價にて賣渡したし　氏名在社（二五三）

廣告

辯護士　岩田仙宗

明治町二丁目七十五番戸

電話三五四番

新茶賣出し

卸　小賣

京城本町五丁目

富士の里茶舖

電話九九七番

衛生無害　金水舍製ラムネ

一ラムネ、ミカン水

昨年の通り純良なるラムネ、ミカン水製造販賣仕候間陸續御愛飲を乞ふ

京城大和町二丁目

漢城製藥所長藥劑師　渡邊悦之輔

特定御用　牛乳　荒井牧場

明治廿年七月創立

京災海上運送保險株式會社

資本金一千萬圓

京城代辨店　本町四　山口呉服店　電話九

事務所　京城本町二の三電話一〇六〇番

新荷着廣告

歐州各國帝室御用品

品質優等、意匠艶麗、

G.D.印トルコ金口煙草（百本入　十本入）

外各種　百本入、二十本入、十本入とも

右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候

追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候

直輸入元

仁川本町一丁目

トルコ煙草商會

電話（七一五番）

最近當店受負のスレート工事は

釜山、新築停車場其他

龍山、新築停車場、駐剳軍兵營及各廳舍其他

京城、通運會社、總理大臣秘書官邸其他

平壤、駐剳軍兵營及各廳舍

仁川、英禮堂其他

耐久價格低廉　外觀善美　技術巧妙　重量五分の一

木材約三割減

韓國京城旭町三丁目　關西スレート會社韓國代理店

井上久藏

電話（長）二三三

開業御披露

壽し

並に折詰御好次第

京城壽町一丁目

巴すし

（電話一〇一七番）

營業科目

活版活字鑄造　石版銅版　木版彫刻　コロタイプ版　寫眞版　銅模鑄造　製本裝釘

今回日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ尚今後ハ益業務ノ擴張ト技術ノ改良トニ努メ江湖ノ御愛顧ニ應ヘ度候此段謹告候也

日韓印刷株式會社

本社　京城明治町三丁目　電話（三二三番）

東京出張所　東京京橋區南鍋町一ノ十　電話新橋（三九六二番）

◉婦人良藥

子宮病血の道

月やく不順、産前、産後の諸症にて種々の藥を用ひ、其効なく御困りの人は中將湯を試みよ

中將湯

CHUJOTO PREPARED BY TSUMURA

子宮病血之道藥

●如何なる難病も二三週間に全治す

●尚は詳しくは大廣告の節御注意を乞ふ

定價　一日分拾錢　四日分卅五錢　一週間分六拾錢　二週間分壹圓拾錢　三週間分壹圓六拾錢

本店　東京日本橋區通四町目

支店　大阪大寶寺町堺筋南入

本舖　東京　大阪　津村順天堂　本店　支店

▲清潔の下宿▼

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目一番戸横小路

（元花屋跡）

▲懇切の下宿▼

かめ屋

東洋總代理店

實用石鹸

アイボリー

藤原京城支店

電話八壹壹〇　九四番

三一館

焦心單志多年爲斯道雖於微義與奧恍然似有得者匪鑿推臆斷呶呶茫洋辭愈涸腸素面輕輩也

易斷觀相教授

京城本町五丁目

通信判斷一件一圓特別二圓

懷中要藥

代理店

清心丹 TRADE MARK 高木

清心丹は旅行携帶藥として缺く可からざる良藥にして汽車汽船のゑひを快よくすること妙

清心丹は高尙なる香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を清朗ならしむる特効有を以て發聲家其他交際場裡の必携劑なり

清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし

清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ

清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙

清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を嚙み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり

清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒嚙み碎用ひて大に豫防す

清心丹は人魚の商標と高木與兵衛の名前へ御注意之上御求めを乞ふ

清心丹は定價金一圓（箱入）五十錢（箱入）卅錢十五錢（紙入）十二錢（瓶入）廿錢十錢五錢（紙包）の入個あり

清心丹は製造本舖は東京市日本橋區元大坂町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

京城南大門通三丁目
電話（九百四番）（千六十八番）
新井藥房本店

京城本町三丁目
（電話四七八番）
新井藥房第一分店

京城南大門外
新井藥房第二分店

製自賣販約特

漬物
味噌
醬油
製造元

京城本町五丁目

相洋酒、回精酢、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣

尙御望に依り商品切手調進仕候

大上商店

（電話二五一番）

西洋御料理宴會

京城ホテル

京城南山町三丁目（電話一二三番）

待合醉月

京城旭町古屋二丁目横

貨物運送取扱　危險擔保附運送　稅關貨物取扱　品代金付貨物引換證發行運送

內國通運株式會社

京城支店　京城南大門驛前　電話七〇八番

仁川出張所　仁川驛前　電話五一一番

釜山出張所　草梁驛前　釜山驛前　電話六一六番　草梁驛前　電話五三七番

龍山派出所　龍山驛構內　電話二〇六番

入院隨意

松岡醫院

南山町二丁目植村病院跡

電話六七五番

會席御料理

富士見樓

本町八丁目

統監府御用

諸官衙人力車

荷物荷造及運搬

伊藤組

營業京城曙町（電話七三番）

本店同本町三丁目（電話四〇番）

讀み玉へ最廉價なる

大阪日報　一ヶ月廿錢

京城帰領事館通　大成社

東京流待合席貸

京城南山町一丁目

電話五二〇番

日本郵船株式會社

仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通　郡回漕店

電話三九番

●釜山長崎門司神戶行　山東丸　五月九日午後三時出

●大連、太沽、牛莊行　高砂丸　五月二十七日正午時出

●大連、太沽、牛莊行　山東丸　五月二十五日前五時出

●大連、大沽、牛莊行　酒田丸　五月十三日正午出

●釜山出帆、元山、清津、浦潮行　立神丸　五月二十六日

御注意　御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ス

●新聞料　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月金…

●廣告料　▲五號活字十九字詰一行…▲特別…廣告五號活字十九字詰一行金五十錢

發行兼編輯人　秋山忠三郎

印刷人　高木久馬太

發行所　京城　京城新報社

京城西署西小門通　電話六六三